

好奇心って素敵な言葉

りふれくらぶ(全国陶板浴)顧問白川太郎先生の講演会が抗酸化リバーズ工法研究会主催で龍ヶ崎でありました。私も竹屋陶板浴のお客様 60 名程の方とご一緒に参加させて頂きました。先生から「皆さんは 100 才まで生きたいですか？」の問いに何名かが手を上げていました。日本では 100 才以上の方々が約 6 万人、その内 87% が女性だそうです。老化の正体は慢性炎症で、原因は肥満、免疫の老化、細胞の老化だそうです。細胞が老化するとはどういうことなのか、など詳しくお話して頂き、その時はなるほどなるほどと聞いていましたが、時間が過ぎると「なるようにしかならない、ま、身体を温め免疫力を高めていけばいいか」と安易に思ってしまいます。以前私は「私の人生 80 才、そこまで生きられたらいいわ」と言っていたのですが、今は 82 才かなと思っています。身内は即座に「いやいやそんなもんじゃないよ」と、私としてはどう受け取るか悩みますが、どちらにしても自分では決めようがないので好きなように生きるしかないなと思っています。瀬戸内寂聴氏の最近出版された『老いも病も受け入れよう』という本に、私は「病は受け入れられるけど老いはまだまだ受け入れられない」と思い手にしました。現在 94 才の生き様に、マアびっくり。お出かけする前日は顔パック、撮影をするからとつけまつ毛をする感覚。「若い子が自分の知らない楽しそうなことをしていると、気になって自分もやりたくなってしまおう」と言うのです。「人の言うことを気にせず好奇心のまま、自分のしたいことをしましょう」だって。このことって「私に言ってくれているのだわ」と励まされ、気分が高揚し心が解放されるようです。ウフフ。

毎月「たんぽぽの会」(癌交流会)をし、今回は「元気になった人の話を聞こう」でした。どなたにお願いするか考えたのですが皆さん元気になると陶板浴へ来る回数も少なくなってきました。比較的陶板浴に通っている方と日程が合う方をお願いしました。報告者のお一人で後日分かってびっくりしたのは家族も本人もずっと抗癌剤をされていたと聞いていたらホルモン注射だったと言うことでした。熱が出たので医師に「抗癌剤をすると熱がでるんですよね」と言ったら「抗癌剤は今までしていませんよ」と言うそうです。2 年前抗癌剤をしますと言われたのでそのつもりでいたそうですが、投与する前に数値が良くなって投与をするのを止めたみたいと話してくれました。それを知って私たちも納得したのです。骨にも転移でやっと歩いていた方が陶板浴利用後一週間ですたすたと歩き、余りにも良くなるのが早かったのです。それが解明されました。本人は「抗癌剤をしていたら今頃生きてなかったな」と言っていました。今は骨への転移もほぼ消え、リンパも綺麗になくなったと言われ家族で喜んでいきます。

参加された方は今度は自分が報告したいと言って下さいます。癌先輩が癌後輩につなげる生命のリレー、病気になっても心は元気です。何事も好奇心、好奇心。